

全仏

ZENBUTSU



476

仏暦2545年3月(2002年)
財団法人 全日本仏教会
JAPAN BUDDHIST FEDERATION



全日本仏教会 新・旧会長、副会長、理事長 (関連記事2～5頁)

大谷光真新会長(中央左)、大谷暢顯前会長(中央右)、後列左より
森和久新理事長、粕川鐵禅、麻生文雄、渡邊恵進新副会長、
後列右より石上智康前理事長、中村啓識、白井慈勲前副会長

**理事会・評議員会開催
平和の祈り**

理事会・評議員会開催

新会長に大谷光真浄土真宗本願寺派門主 新理事長に森和久曹洞宗宗議会議長

本会の理事会・評議員会が、去る一月三十一日午後二時から、リーガロイヤルホテル京都を会場に開催された。会議では、任期満了に伴う会長・副会長の推戴と理事長をはじめとする役員を選出、更に平成十四年度の事業計画案や収支予算案等が審議された。

評議員会

仮議長に新倉典生師を選出し、仮議長の下で本会の寄付行為に基づき瀬古眞隆師を評議員会の議長に選出した後、議事録署名名人に横山裕教、垣内善勝の両師を選出して議事に入った。

議案第一号「任期満了に伴う理事および監事選出の件」

慣例に則り、理事および監事選考委員会を設け、別室で工藤秀和師を座長に選出して協議した結果、別記の理事・監事案が評議員会

に報告され、原案通り承認された。

議案第二号「任期満了に伴う会長および副会長推戴の件」

瀬古議長より上程。昨年の十二月四日に開催された「第二十五期会長・副会長推戴委員会」の結果が報告され、報告通り別記の会長・副会長の推戴が議決された。

議案第三号「平成十四年度事業計画（案）について意見を求める件」

瀬古議長より上程。吉橋総務部長が事業計画案を説明。

原案賛成の意見が表明された。

議案第四号「平成十四年度収支予算（案）について意見を求める件」

瀬古議長より上程。倉澤財務部長が予算案を詳細に説明。原案賛成の意見が表明された。

理事会

小林照宥師を仮議長に、議事録署名名人に袖山榮眞、後藤佑芳の両師を選出し議事に入った。

議案第一号「任期満了に伴う理事長および常務理事選出の件」

曹洞宗の森和久師を理事長に選出後、森理事長を議長に、別記の常務理事を選出した。

議案第二号「任期満了に伴う会長及び副会長推戴の件」

森議長より上程。昨年の十二月四日に開催された「第二十五期会長・副会長推戴委員会」の結果が報告され、報告通り別記の会長・副会長の推戴が議決された。

議案第三号「平成十四年度事業計画（案）について承認を求める件」

森議長より上程。吉橋総務部長が事業計画案を説明。原案通り承認された。

議案第四号「平成十四年度収支予算（案）について承認を求める件」

森議長より上程。倉澤財務部長が予算案を詳細に説明。原案通り承認された。

報告事項

議案の審議終了後、以下の理事会・評議員会に共通する報告が行われた。

① **マヤ堂修復事業について**

櫻井国際文化部長より、マヤ堂遺跡の考古学調査報告書・遺物返還処理・マヤ堂修復設

リーガロイヤルホテル京都で開催された理事会・評議員会



より、同大会が昨年十月十日と十一日の両日、長岡市内の会場で大谷暢顯本会前会長を大会総裁として新潟県仏教会傘下寺院の強力な支援の下、本会加盟団体の協力を得て盛大に挙行されたことが報告された。

③第二次世界大戦犠牲霊骨還国奉安について

吉橋総務部長より日韓佛教交流協議会から「戦後五十余年の間、厚生労働省所管の下で東京目黒区の寺院でお預かりしている韓半島出身戦死者千余体の遺骨を還国する問題」について本会に後援依頼があり、今迄の経緯と現状が報告された。

③各種委員会委員の選任について

第二十五期の各種委員会委員（総務・税務・同和・信教・国際）が報告された。（各委員名は次号にて紹介）

④アッシジ「世界平和の祈り」について

去る一月二十四日ローマ教皇の呼びかけでイタリアのアッシジで行われた同集いに、本会を代表して出席された石上智康前理事長より、概要報告と世界平和に対する仏教徒の果たす役割について説明された。

⑤事務総局各部報告

各担当部長より報告された。

新会長・理事長記者会見

理事会・評議員会終了後、同ホテルで記者

会見が行われた。大谷光真会長・森和久理事長からは積尊の教えを礎に平和な社会を実現するため内外の諸問題に積極的に取り組む姿勢が表明された。

講演会

長谷川正浩本会顧問弁護士による「最近の宗教法人に関わる法律問題」の講演が理事会・評議員会終了後に同会場で行われた。

宗教法人が関与した訴訟問題について、具体的な事例をもとに解りやすく解説され参加者は熱心に聞き入っていた。

懇親会

午後五時半から、同リーガロイヤルホテル京都を会場に恒例の新年懇親会が開催された。新旧の役員が紹介され、大谷光真会長、森和久理事長、大谷暢顯前会長、石上智康前理事長等の挨拶の後、中村啓識前副会長の発声で乾杯を行い、暫しの間、約二百人の出席者による、和やかな懇談が続いた

仏旗バッチ	
2×4.5cm	500円
法輪バッチ	
直径1cm	1000円
お申し込みは	
全日本仏教会	
財務部まで	

全 仏
②第三十八回全日本仏教徒会議新潟大会について
本会前副会長の中村啓識新潟県仏教会会長、春日浩三同副会長、上原教仁同大会事務総長

第25期

全日本仏教会役員

副会長に渡邊恵進天台座主
二條恭仁子全日本仏教婦人連盟会長ら4名

会長 大谷光真 (浄土真宗本願寺派門主)
副会長 渡邊恵進 (天台座主)

理事長 麻生文雄 (真言宗醍醐派管長)
理事 柏川鐵禪 (東京都仏教連合会会長)
二條恭仁子 (全日本仏教婦人連盟会長)
森 和久 (曹洞宗)

常務理事 (評議員中の◎印)
理事 (評議員中の○印)
監事 (評議員中の▽印)
評議員 ◎大竹明彦 (曹洞宗)
◎森 和久

◎加藤俊雄
檀上高道
森 嶺雄
黒柳祖道
乙川映元
宮前正道
◎武野以徳 (浄土真宗本願寺派)
◎石上智康

不二川公勝
武田昭英
浅野弘毅
菅 義成
松原功人
山内教嶺
◎三浦 崇 (真言宗大谷派)
高濱純雄
菊池顯正
里雄康意
杉浦義孝
但馬 弘
不破 仁
◎禿 信敬
◎水谷幸正 (浄土宗)
◎袖山榮真
松本眞岳

豊岡鏡尔
白幡憲佑
牧 達雄
小林憲雄
北川一有
◎渡邊清明 (日蓮宗)
加賀美泰全
篠原智高
垣本孝精
野坂法雄
中里観正
◎土生川正道 (高野山真言宗)
眞田有範
高橋智運
壽山良知
服部融宣
◎細川景一 (臨濟宗妙心寺派)
松井宗益
宮田正勝
▽瀬古眞隆
鈴木眞道
◎西郊良光 (天台宗)
工藤秀和
小堀光實
今井祐弘
◎小林照宥 (真言宗智山派)
芙蓉良英
井上弘道
土屋正見
◎大塚恵章 (真言宗豊山派)
鴉 晃秀
根岸榮宏
横山裕教
◎安藤正晃 (孝道教団)
秋好正隆
山口正成

◎出口順得 (和宗)
塚原亮応 同
瀧藤尊淳 同
◎網野義紘 (聖観音宗)
法田光順 同
守山雄順 同
◎長谷川霊信 (念法眞教)
桶屋良祐 同
仲田順和 (真言宗醍醐派)
佐藤令宜 (真言宗御室派)
安藤光淵 (真言宗高田派)
西山哲昭 (西山浄土宗)
秦 正静 (真宗興正派)
赤松達明 (黄檗宗)
杉 慈邦 (臨濟宗南禅寺派)
東條仁哲 (真言宗大鳴派)
別所法山 (天台眞盛宗)
白木悦順 (時宗)
永井宗誠 (臨濟宗建長寺派)
渡辺俊岳 (法華宗本門流)
大谷義博 (真宗仏光寺派)
王丸儼英 (浄土宗西山禅林寺派)
青木謙整 (臨濟宗東福寺派)
坂口博之 (真言宗大覚寺派)
尾垣良格 (融通念佛宗)
高野日豊 (本門佛立宗)
畔柳正顕 (浄土宗西山深草派)
檜原禅澄 (真言宗善通寺派)
中村通義 (顯本法華宗)
中村元信 (新義真言宗)
林 良道 (臨濟宗巴覚寺派)
永谷眞龍 (真宗木辺派)
小林慶存 (天台寺門宗)
齋藤隆彦 (法華宗眞門流)
土屋善敬 (法華宗陣門流)
丸山秀彦 (真言宗因分寺派)

〔財〕日本宗教連盟主催シンポジウム 「日本人にとってのイスラーム」

〜同時多発テロ事件を契機にして

十二月二十日午後一時から、東京・内幸町のプレスセンターで、〔財〕日本宗教連盟主催、読売新聞社後援によるシンポジウム「日本人にとってのイスラーム」同時多発テロ事件を契機にして」が開催された。

はじめに中央大学法学部教授の眞田芳憲氏が「イスラームと原理主義」と題して基調発言を行った。氏はイスラームの持つ政教一致の特色、ムスリムの行動規範が聖典コーランに基づくシャリーア（法）にある点、シャリーアはテロや自殺を禁じる反面、自衛戦争を肯定する点で、絶対平和主義を

標榜する仏教とは異なっている点を指摘した。

また、西欧列強の国際法が、帝国・植民地主義を正当化する立場に立つのに対し、イスラームにはシアールという、戦争と平和に関する国際法があり、これは非常にオープンなもので、ヨーロッパで迫害を受けたユダヤ人を、パレスチナでムスリムが排除せず寛容に受け入れたことが、結果として現在のパレスチナ問題を生みだしている」と説明した。

休憩をはさみ、國學院大學教授・井上順孝氏を司会に、日本ムスリム協会理事・武藤英臣氏、東京ジャーミイ文化センター副代表・セリム ユジェルギュレチ氏、東京基督神学校講師・油井義昭氏、発題をされた中央大学教授、眞田芳憲氏をパネリストに迎え、パネルディスカッションが行われた。各氏はそれぞれの立場からイスラームに対して発言し、多くの参加者は理解を深めていた。

また、討議の終わりに、本会の石上智康理事長が発言し、アフガンの国家再建にアメリカの軍事介入が結果として大きな役割を果たしたことに触れ、仏教の標榜する絶対平和主義が、世界平和の強化維持に今後果たし得る役割について真剣に考察する必要性を指摘した。



東京内幸町・プレスセンターで開催

- 高辺信幸 (本門法華宗)
- 田中利典 (金峯山修験本宗)
- 佐伯龍幸 (真言律宗)
- 平野映哉 (真言宗泉涌寺派)
- 上野道善 (華嚴宗)
- 山田法胤 (法相宗)
- 古谷正寛 (聖徳宗)
- 鈴木貴品 (信貴山真言宗)
- 吉井純貴 (真言宗須磨寺派)
- 九野純孝 (妙見宗)
- 藤本浄海 (真言三宝山)
- 池田光輝 (真言宗中山寺派)
- 松藤誠哲 (北海道仏教会連盟)
- 小林潤一 (同)
- 野沢秀功 (青森県仏教会)
- 上田浩久 (岩手県仏教会)
- 伊藤耀道 (福島県仏教会)
- 猪瀬賢山 (茨城県仏教会)
- 塚田宗雄 (栃木県仏教会)
- 酒井文雄 (埼玉県佛教会)
- ▽萩野映明 (同)
- 長瀬日還 (千葉県仏教会)
- 山田日等 (同)
- 大谷博通 (東京都仏教会連合会)
- 垣内善勝 (同)
- 新倉典生 (同)
- 横山敏明 (神奈川県仏教会)
- 本間孝康 (同)
- 和田大雅 (同)
- 春日浩三 (新潟県仏教会)
- 五辻信行 (石川県仏教会)
- 竹田空尊 (福井県仏教会)
- 秋山慈道 (山梨県仏教会)
- 山口祐哉 (長野県仏教会)
- 加納博司 (岐阜県仏教会)
- 桑原芳 (同)
- 後藤佑芳 (静岡県仏教会)
- 池貝弘禪 (同)
- 近藤真道 (愛知県仏教会)
- 玉井康之 (同)
- 吉田教行 (同)
- 田中始更 (滋賀県仏教会)
- 長沢香静 (京都府仏教会)
- 田代賢治 (京都府仏教会連合会)
- 増田貞圓 (大阪府仏教会)
- 井桁雄弘 (同)
- 井上弘昭 (兵庫県仏教会)
- 井上紀生 (同)
- 和田嘉明 (和歌山県仏教会)
- 安好和人 (鳥取県仏教会連合会)
- 安井昭雄 (島根県仏教会)
- 矢木亮司 (岡山県仏教会)
- 大西智城 (徳島県仏教会)
- 立岡光観 (香川県仏教会)
- 三浦章爾 (愛媛県仏教会)
- 高田定信 (高知県仏教会)
- 松尾善雄 (福岡県仏教会連合会)
- 弘中誠之 (宮崎県仏教会連合会)
- 名幸俊海 (沖縄県仏教会)
- ▽島田喜久 (全日本仏教婦人連盟)
- 大樹玄承 (全日本仏教青年会)
- 山田一真 (国際仏教興隆協会)
- 上村映雄 (日本仏教保育協会)
- 青木 新 (仏教振興財団)
- 佐藤功岳 (東京ブディストクラブ)
- 中山静磨 (日本仏教鑑仰会)
- 沼田智秀 (仏教伝道協会)
- 鈴木水城 (仏教情報センター)

ローマ教皇のよびかけによる

平和の祈り

一月二十四日、イタリア中部の都市、アツシジで、昨年の米国の同時多発テロに起因する国際情勢の悪化を憂う、ローマ教皇ヨハネ・パウロ二世の呼びかけのもと、キリスト教、仏教、神道、イスラム教、ユダヤ教など十一の宗教の指導者が一堂に会し、平和の祈りを捧げた。

本会からは、石上智康理事長（当時）、江口智流財務部長、また日本から天台宗・半田孝淳探題、西郊良光宗務総長、立正佼成会



→ バチカンで行なわれたフ
ォーラム「世界平和に向
けた宗教の貢献」



← ローマ教皇主催によるア
ツシジでの「平和の祈
り」

・庭野日鏡会長ら約三十名が出席した。

バチカンから教皇ら百八十人の出席者をのせた特別列車がアツシジに到着。市内の大聖堂で参加者全員による平和の祈りが厳かに行



一月二十五日の教皇招宴でローマ教皇と握手を交す石上理事長

ルンビニー園マヤ堂修復事業

篤志支援者御芳名

先号でお願いしましたルンビニー園マヤ堂修復事業篤志支援に、二月十八日現在、左記の皆様より浄財が寄せられました。ご紹介し御礼申し上げます。また篤志は引き続き受付けております。ご協力をお願い申し上げます。

- (社)全日本仏教婦人連盟様 金、壹百萬円
- 法融寺 那須公順様 金、十萬円
- 法清寺 奈良康明様 金、十萬円
- 光明寺 石上智康様 金、五十萬円
- 萬福寺 安本利正様 金、壹百萬円
- 照栄寺 石川恒彦様 金、十萬円
- 龍泉寺 壽山良知様 金、十萬円
- 信松院 西村輝成様 金、壹百萬円
- 保壽院 藤原知徳様 金、十萬円
- 佛敎大学 佛敎青年会様 金、壹萬円
- 高福院 川島宏之様 金、壹百萬円
- 妙高寺 吉橋勝寛様 金、五十萬円
- 慈眼寺 櫻井大乘様 金、五十萬円
- 慈眼寺 櫻井英幸様 金、五十萬円
- 西新井大師總持寺 濱野堅照様 金、五十萬円
- 浄蓮寺 野口善教様 金、十萬円
- 長慶寺 島田弘道様 金、十萬円
- 善林寺 真柄信雄様 金、五萬円

※篤志の振込先口座番号（郵便振替）

〇〇一三〇一六一三七六〇〇

加入者名（財）全日本仏教会

ルンビニー園復興協力金と明記下さい

※本件に関するお問い合わせ

全日本仏教会国際文化部

電話〇三―三四三七―九二七五

われた。式の中で主催者の教皇は、過去の歴史の中で宗教が戦争を助長した例を反省し、世界の平和のために宗教者は今こそ連帯すべきだと強調した。式典の最後には各宗教の代表者がろうそくを手に舞台上り、宗教を超えた世界平和実現への具体的行動の必要性を訴えた。

各宗教ごとの平和祈願法要も各所で行われ、日本の仏教者は、石上理事長発声のもと三帰



行事の総責任者、フランスス・アリンゼ枢機卿と歓談する石上理事長

依文を唱和、天台宗・半田探題を導師に般若心経を読誦し法要を行った。

また前日、二十三日には、バチカンで「世界平和に向けた宗教の貢献」をテーマにフォーラムが行われた。その席で石上理事長は、仏教の「縁起・空」に基づき、自他の対立を克服して人々が共生・共存しあう世界を目指すべきだと世界に向けて平和へのアピールを行った。

(ホームページ：<http://www.rvan.co.jp/~jbf/>掲載)

二十五日には、バチカンで教皇主催の昼食会が開催され、石上理事長が出席。世界の宗教指導者と交流を深めた。

韓半島出身者第二次世界大戦 犠牲者追悼法要

十二月十四日午後二時から、東京・祐天寺で、第二次世界大戦で戦死した韓半島出身者追悼のため、追善供養法要が営まれた。本会から西村事務総長、吉橋総務部長、櫻井国際文化部長が参列した。

法要には、韓国僧十名、日韓仏教交流協議会の日本人僧五名を含む、約三十名の関係者が参列。約一時間二十分にわたりしめやかに合同法要が営まれた。その後、韓半島出身犠牲者の遺骨が収蔵されている納骨堂を参詣し、解散となった。

花まつり新ポスター

本会が毎年頒布しております、花まつりのポスターのデザインを一新しました。価格は従来通り、一枚百円で、送料は実費ご負担下さい(着払)。お申し込みは五枚以上で、本会事務総局までFAX(〇三―三四三三七―三二六〇)あるいはハガキでお願いします。



(たて594mm×よこ420mm)

法律相談室

長谷川正浩弁護士による無料法律相談を毎月第二、第四木曜日の午後開催しております。本会事務総局(〇三―三四三三七―九二七五)へ事前予約の上おいで下さい。

信教の自由に関する委員会

十二月七日午後一時半より、明照会館会議室で本年度第三回の信教の自由に関する委員会が開催された。

十月に開催された第二回の委員会で懸案事項となっていた項目のうち、「官房長官の私的懇談会による靖国神社代替施設の検討に対し、戦没者をどの様に慰霊することが靖国問題の解決になるのか」について意見交換を行い、対応を協議した。

仏教とマルチメディア研究会

十二月十三日午後一時半から、明照会館会議室で、第九回仏教とマルチメディア研究会が開催された。

西村事務総長の挨拶に続き、各委員より宗派内のIT（情報技術）の利用状況が詳細に報告され、活発に情報交換が行われた。

その中で、氏名などの外字情報の処理について、仏教界である程度の普遍性を持たせる必要性等が指摘された。

事務局録事

一月

八日 局内会議

十日 日蓮宗新年会出席

法律相談室

十五日 増上寺新年会出席

十八日 新潟県仏教会理事会出席

二十一日 埼玉県佛教会懇親会出席

日本仏教保育協会祝賀会出席

二十二～二十七日「世界平和の祈り」出席

二十三日 同和委員会

二十五日 法律相談室

日宗連理事會

二十八日 局内会議

三十一日 理事会・評議員会新年懇親会

二月

五日 全日本仏教婦人連盟修正会出席

九～十日 世界仏教徒大学理事会出席

十三日 局内会議

十四日 法律相談室

二十四日 東仏理事長祝賀会出席

二十八日 法律相談室・局内会議

哀悼

サンヤ・ダルマサクティ氏

(Prof.Sanya Dharmasakti)

一月六日逝去 九十五歳

世界仏教徒連盟(WFB)前会長

近藤隆敬師(全仏元国際部長)

二月九日遷化 九十歳

真言宗智山派前管長

仏教ポケットカード

ポケットの中に入る、小さなやさしい法話カードを作成いたしました。多くの人々に仏さまの教えに親しんでいただき、明るく豊かな社会が取り戻せればと思います。各種の集まりの際や、玄関や受付にてご配布頂ければ幸いです。



大きさ たて60mm×よこ100mm
2つ折り、4面

お申し込み方法

価格 百枚千円(百枚以上百枚単位で頒布)

お届け 郵便にて(郵送料は別途ご請求)

申込 必ずFAXかハガキでお願いします。

東京都港区芝公園四一七一四明照会館二階

全日本仏教会財務部

電話 〇三―三四三七―九二七五

FAX 〇三―三四三七―三二六〇

お支払 同封の請求書と振込用紙で郵便局からお支払い下さい。